



2026年度 一般会計予算 2兆3759億円 (前年比7.2%増)

いのち輝くマグネット神奈川の実現に向けて

2026年度、県議会第1回定例会(2月12日～3月25日開催)の2月12日本会議において、令和8年度当初予算が上程されました。県民の皆様の生活に密着した事業に使われる一般会計予算案は、過去最大となる2兆3759億円(前年比7.2%増)となっています。歳入では県税1兆5254億円、地方譲与税2153億円、地方交付税960億円、国庫支出金1755億円、繰入金1828億円、県債924億円などが計上、歳出は人件費、介護・医療・児童関係費などの義務的経費に1兆8679億円、政策的経費に5080億円が計上されています。

黒岩祐治知事は、『いのち輝くマグネット神奈川の実現』に向けて9つの重点施策を掲げ、誰もが安心して暮らせる優しい社会の実現を目指した予算編成となっています。

重点施策のポイント *各事業の予算額は四捨五入

- 重点1 子ども子育て支援《2424億35万円》**
子ども子育て支援1824億円 支援を必要とする子ども・家庭への取組み1600億円
- 重点2 教育の質の確保と学びの充実《675億4014万円》**
教員の働き方改革の加速化75億円 県立教育施設整備の推進125億円
- 重点3 未病改善の取組及び医療・介護施策の推進《1739億2022万円》**
未病改善の取組17億円 医療施策の推進374億円 介護高齢者支援施策の推進1342億円
- 重点4 行ってみたい神奈川の魅力づくり《76億790万円》**
GREEN×EXPOへの取組59億円 各地域における観光資源の発掘・交流機会の創出7億円
- 重点5 県内経済・産業の活性化《254億2400万円》**
米関関税措置や日産自動車生産縮小への対応105億円 労働力不足への対応・就業支援72億円
- 重点6 脱炭素社会の実現に向けた取組《203億5421万円》**
運輸部門の取組15億円 家庭部門の取組8億円
- 重点7 共生社会実現への取組及び生活困窮者等への支援《1144億6558万円》**
共生社会実現への取組1125億円 DV・ストーカー被害対策の強化2億円
- 重点8 安全で安心して暮らせる神奈川の実現《1555億6905円》**
地震災害対策等の推進1140億円 風水害対策の推進828億円 犯罪や事故のない安全・安心なまちづくり105億円 鳥獣被害対策の推進4億円
- 重点9 県民目線のデジタル行政の推進《355億2878万円》**
くらしのデジタル化202億円 行政のデジタル化259億円

令和8年度当初予算は、横浜市など基礎自治体では対応しにくい課題を広域的に支える役割を重視した編成にもなっています。

具体的には、子ども・教育・医療・福祉・防災・産業・脱炭素・DXなどを重点分野として横断的に推進していきます。また、GREEN EXPO 2027への対応、観光振興、EVバス導入促進など、複数市町村にまたがる交通・集客・環境分野の調整機能が示されています。加えて、DV・ストーカー対策のように福祉・警察・市町村連携が必要な分野でも、県の広域調整機能の発揮が求められます。

更に、政令市に対しても法人二税の超過課税を活用し道路整備や市街地再開発への補助を実施していますが、事業費の大幅な増加が見込まれることから、政令市への補助上限額を5年間総額で現行の36億円から120億円に引き上げます。

引き続き、県全体の底上げを図り、市町村の持続可能な行政サービスの提供を行っていきます。



あらい絹世の 歩いて見る！ 磯子のまち あれ？ これ？

洋光台4～6丁目 (〒235-0045) 人口：12,906人 世帯数：6,793世帯 (令和7年12月現在)

前号に続き今号は洋光台を見聞、4～6丁目一帯も里山的な地域でしたが、住宅建設に伴い道路整備も進みました。6丁目と峰町の境界道路(住居表示峰町604)の中央に樹齢320年、高さ約13mのタブノキ(横浜市名木古木指定)があり、計画では伐採して道路を通す予定でしたが、住民からこの木は峰白山神社のご神木的な存在であり伐採すると不吉な事や工事関係者に事故や体調不良の者などの祟りが出る、この地はかつての矢部野と峰町の村境で、タブノキは村の堺木(さかいぎ)の目印の役割を果たしてきたなどと残すべきとの声が多く、移植せず道路の中央部に残したために道幅が狭くなり、普通乗用車がやっと通れる程の道路となりました。

5丁目にある「横浜こども科学館」は1984(昭和59)11月12日に開館し、2020(令和2)年に「はまぎんこども宇宙科学館」と名称変更し年間約17万人の来館者で親しまれています。同館には洋光台こどもサイエンスクラブがあり科学に親しむ活動を行っており、2023年には同館のプラネタリウムは世界で最も多くの星を投影できるギネス世界記録に認定されました。現在、JAXAの名誉教授で小惑星探査機「かぐや」のプロジェクトチームの一員だった川泰宣氏が館長を務めています。科学館の近くに、なるべく規則に縛られずに子どもたちに自由に遊んでもらおう1993(平成5)年に開設された洋光台駅前公園「こどもログハウス」があります。

6丁目には、自然の湧き水を利用した人工池があり野鳥の鳴き声の鑑賞や水生生物の観察会などもおこなわれています。

また、洋光台連合自治町内会は、2006年安倍晋三首相(当時)から地域の防犯パトロールや防犯活動の啓蒙が高く評価され「平成18年安全・安心なまちづくり関係功労者」として全国10団体の一つとして表彰されました。

「神奈川県庁舎 各階」 **くらし安全防災局 くらし安全交通課**

くらし安全交通課は、県民の「安全・安心な暮らし」を支える、安全・安心まちづくり、交通安全対策、犯罪被害者等支援施策の推進を担っています。企画グループは交通安全に係る施策や県民運動の企画調整、交通事故相談、幼児の交通安全教育を担当し、推進グループが防犯指導(子どもの誘拐防止・特殊詐欺防止など)や地域防犯ボランティアセミナー、視聴覚ライブラリーの運営を行っています。

横浜駅近くの「かながわ県民センター」にある横浜駐在事務所では、かながわ犯罪被害者サポートステーションの運営、犯罪被害者等への支援、さらに、かながわ性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター「かならいん」の運営も担っています。

サポートステーションでは、犯罪被害に遭われた方やそのご家族からのさまざまな相談に応じ、必要な情報や支援を総合的に提供しています。法律相談(2回まで無料)、カウンセリング、裁判所等への付添い、緊急避難先の宿泊支援、県営住宅の一時使用など、被害後の生活再建を支える支援が用意されています。電話相談は☎045-311-4727(月曜日から土曜日 午前9時から午後5時まで ※祝休日、年末年始・休館日を除く)です。また、「かならいん」は、性別・年齢を問わず、性犯罪・性暴力の被害に遭われた方やそのご家族からの相談を受け、必要に応じて医療機関や警察署への付添いも行う体制を整えており、電話相談「#8891」で24時間365日対応しています。交通安全分野では、自転車の安全利用の周知も重要な仕事です。特に、令和8年4月1日から16歳以上を対象に自転車の交通違反に対する交通反則通告制度(いわゆる青切符)が導入され、危険・悪質な違反には反則金による取締りが行われることから、自転車ルールブックの作成などさらなる周知に努めています。

さらに、「県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」により、県内で自転車を利用する人には自転車損害賠償責任保険等への加入義務がありますが、4月からは自転車利用者のヘルメット着用(努力義務)の促進に関する規定を定めるなどの改定も行われます。県内の自転車ヘルメット着用率が12.6%と低いことから、通学等で自転車を利用する機会が多い高校生を対象に、ヘルメットを着用したファッションフォトとヘルメットのデザインを募集するコンテストを開催し、自転車利用者のヘルメットの着用率の向上に努めています。

昭和43年 横浜市磯子区生まれ。 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業。

日商岩井株式会社に8年、株式会社メタルワンに5年勤務。

平成23年 神奈川県議会議員選挙 初当選 以後連続4期トップ当選。

県民スポーツ常任委員会・厚生常任委員会・予算委員会など各委員長を歴任。

現在 厚生常任委員会、安全安心・未来環境特別委員会、予算委員会各委員、かながわ自民党副幹事長。

